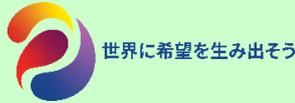


# 沼津西ロータリークラブ



## 2024～2025 年度・クラブテーマ

「 Try It Now 」 やってみよう

会 長 鈴木 和憲 / 幹 事 久松 但

第 1516 回 第 34 巻 15 号 2024 年 11 月 7 日  
■■本日のプログラム■■  
外部卓話 地区財団委員会 ロータリー財団委員会  
大澤能孝委員 (富士宮 RC)

■11 月のプログラム■	
1517 回 12:30	地区大会参加報告
11 月 14 日(木)	会長・幹事・参加者・理事会
11 月 21 日(木)	祝日週休会
1518 回 12:30	サッカー大会報告
11 月 28 日(木)	サッカー大会参加者

**例 会 場** 〒410-0046 沼津市米山町 3-37  
 アクアガーデン迎賓館沼津  
 TEL 055-920-5200

**事 務 局** 久松会計事務所内  
 TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600  
 E-mail: numawestrc@gmail.com

**例 会 日** 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 颯川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名			
例 会	会員数	出席数	出席率
1516 回	20 名	16 名	80%

●欠席者( 4 名 )

## 会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

11 月はロータリー財団月間です。  
 ロータリー財団は、1917 年 6 人目 RI 会長のアーチ・クランプ氏が「世界で良いことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。最初 26 ドル 50 セントで始まった R 財団基金は、100 年以上前に創立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額 40 億ドル以上の資金提供をしてきました。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。  
 \*わずか 60 セントで、一人の子供をポリオから守ることが出来ます。  
 \*50 ドルで、水を介する疾病から人々を守るために安全な水を提供することが出来ます。  
 \*500 ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子供たちに安全な環境を作ることが出来ます。

ロータリー財団は、慈善活動を目的とする公共慈善団体であり、管理委員会によって管理されています。(会員制組織である国際ロータリーは、理事会によって管理されています。) 国際ロータリーとロータリー財団の世界本部は米国イリノイ州エバンストンにあります。当財団の協力団体が、日本、韓国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、ドイツ、英国に設けられています。

最後にロータリー財団は国際ロータリーに併設された法人ですが、理念的にも、実際的にも一体の組織として機能しています。国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団は自発的な寄付によって支えられています。

クラブと地区は、ロータリー財団から授与された補助金を活用して、よりよい町や世界を築く為の補助金プロジェクトを実施しています。

ロータリー財団には 7 つの重点分野があります。それは、1.平和の促進、2.疾病との闘い、3.きれいな水の提供、4.母子の健康、5.教育支援、6.地域経済の発展、そして、7.環境の保護です。

## ●ゲスト

1. 地区財団委員会 ロータリー財団委員会 大澤能孝委員 (富士宮 RC)

## ●欠席者( 4 名)

本村文一、重光 純、植松 正、渡邊勝也

## ●スマイル報告

1.久松 但：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。2.芹澤貞治、3.宮島賢次、4.羽切勝利：大澤様、本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

## 幹 事 報 告

### 1.他クラブの例会変更

①沼津 RC 11/8(金) 休会 MU：無し  
11/29(金) 休会 MU：無し

### ②沼津柿田川 RC

11/6(水) 11/10 の地区大会へ変更 MU：無し  
11/13(水) 11/16(土)の清水町ふれあい広場に変更 MU：無し  
11/27(水) 第4週目のため休会 MU：無し

### 2.連絡事項

①次週は、例会後、理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。

②11/10 の地区大会に参加の方は、6時40分沼津駅北口集合・出発です。

## 卓 話



### ロータリー財団について

**2620 地区ロータリー財団 大澤能孝委員 (富士宮 RC)**

1917年ロータリー財団が誕生しました。

公益財団法人ロータリー日本財団は、国際ロータリーのロータリー財団の協力財団です。理事長は茶道家の千 玄室氏であります。平成22年12月に内閣府より公益財団法人として認定を受け、14年目を迎えます。100年の歴史を持つ国際ロータリーのロータリー財団と「世界で良いことをしよう」という理念を同じくし、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高

め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事を目的としている国際ロータリー財団に協力して公益事業への支援も行っています。当法人は、持続可能な変化と成果をもたらす人材を育成するため、奨学金事業に注力しています。

昨今の世界情勢において、平和の大切さと平和構築のための人材の重要性が実感されております。その中で、当財団が果たすことが出来る役割は決して少なくないと考えております。日本財団の公益目的事業は個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するための奨学金(グローバル補助金における奨学金)およびロータリー平和フェローシップの付与を行っており、すでに900名の学友が各国政府や国際機関などに勤務しています。国際RC規模では1947年から2013年までの国際親善奨学金制度による奨学生は4万人(日本は8千人)を越えています。昨年度皆様から寄せられた日本財団への年間寄付金額は、20億円を超えました。国際財団は日本全国および海外に約35,500あるロータリークラブと120万人を超える会員が、発展途上国に綺麗な水をもたらす、平和活動に携わる人材を育成するなど、様々な形で世界の平和と人々の生活をよりよくするための活動を支援しています。ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきました。子供達を苦しめるポリオ(かつて日本でも大流行した小児麻痺)の撲滅には、特に力を入れてきました。世界122か国20億人以上の子供達へ予防接種を行い「あと少し」を合言葉に、最後の0.1%の絶滅のため最もワクチンを届けにくい地域での予防接種を可能にすべく、WHO、ユニセフ等の団体と共に活動しているところです。

2016年の11月27日に開催されたロータリー財団100周年記念シンポジウムでは緒方貞子氏に「ロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞」が授与されました。このシンポジストの5人はロータリー財団の奨学金を得て留学した後、海外において人道援助活動をしておられる方達でした。ポリオ撲滅の最前線ナイジェリア、パレスチナのガザ地区、南スーダンの紛争地、シリアでの戦闘地域における救援物資の運搬や住居支援など、まさに世界が国際協力のもとに解決していかななくてはならない最前線で活動している学友たちです。

中満 泉(なかつみ・いずみ)氏は34年前に神奈川県厚木ロータリークラブから派遣された国際親善奨学生です。今、中満氏は、国連の軍縮部門トップである軍縮担当上級代表(事務次長)に就任し、活躍しています。事務次長は、事務総長、副事務総長に次ぐ幹部ポストです。このことを我々ロータリアンは知っておく必要があると思います。

今年度も会員一人150ドルをRC財団に、ご寄付いただきますようお願い申し上げます。